

研究所だより

第371号
2017年 2月28日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“どこかで春が 生まれてる どこかで水が 流れ出す
どこかで雲雀（ひばり）が 鳴いている どこかで芽の出る 音がする
山の三月 そよ風吹いて どこかで春が 生まれてる”
「どこかで春が」日本の歌曲 1923年



“一月は行く、二月は逃げる、三月は去る”
早いもので今年度も後一ヶ月となりました。
「梅一輪ずつの暖かさ」と言いますように、梅や桃の花も満開となり、「今日はぬくいねえ」と春を感じさせるような声が聞こえてきます。

☆第3回学力向上検討委員会（2月6日・月）委員長：山崎校長（下ノ加江小）

6日（月）に第3回学力向上検討委員会が開催されました。高知県学力・学習状況調査の自校採点後の分析・取組等についてと平成29年度全国学力・学習状況調査に向けての課題や日々の取組について、協議・意見交換をしました。

【課題】

（小学校5・6年：国・算・理）

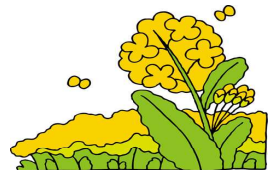
- ・目的や必要に応じて資料を基に考えを書く。（読む・書く）
- ・文章全体の構成の効果を考えて書く。（書く）
- ・複数の資料を比べて読む。（読む）
- ・情報を基に方法や理由を述べる、数量の関係を式に表す。（技能）
- ・磁石の性質を仕組み当てはめて考える。（思考・表現）
- ・前年度までの既習の漢字を正しく書く。（知識・理解・技能）
- ・慣用句の意味と使い方を正しく理解する。（知識・理解・技能）
- ・無回答（最後の問題まで解けていない）→スピードも大事

（中学校1・2年：国・社・数・理・英）

- ・文章を読んで、構成や展開を考える。（読む）
- ・資料を比較して読み、内容を捉える。（読む）
- ・根拠を明確にして自分の考えを書く。（書く）
- ・資料を考察して、問題点を説明する。（思考・判断・表現）
- ・資料から背景や関わり、特色を読み取る。（技能）
- ・問題解決の方法や理由を説明する。（考え方）
- ・関係を式に表したり、解くことができる。（技能）
- ・資料を読み取ることができる。（知識・理解）

【取組み】

- 昨年度のつまずきが改善されていない。
 - ・正答率の低い問題や類似問題の誤答を分析し、焦点化する。
 - ・授業の中でつまずきに対する指導をする。
 - ・つまずきについて定着状況を確認、継続指導を行う。



- 経年比較—本市と西部管内との差の差がポイント。
経年比較を基に、課題を分析し、毎回課題となっている領域について、授業でどう取り組み、成果が上がったのか。また、何が十分に組み合わせていないのかを全校研で分析し、日々の授業に生かしていく。
 - ・差が大きかった問題を再度確認し、授業で振りかえる。
 - ・±10ポイント以上の開きがある問題をピックアップし、加力や家庭学習に生かしていく。
- 「県学力定着状況調査への取組について」の調査を全校研で確認・活用する。
- 短期・長期的に取り組む。
 - （例）短期：4・5年の新出漢字→繰り返し出題されている→帯びタイム等で算数日記（振り返り）：時間内に要点をまとめる力の定着
 - （例）長期：長文読解力の向上のために→問題集の活用
読書「ことばのきまり」
- 中学校の取組

1. なぜとれていないのか。どの取り組み・指導が弱かったのか。
2. どこに手を入れていくか、どんな取り組みをしていくか。

の2点について各教科部会で分析、達成状況を確認する。課題への取組については、授業改善（基本事項の徹底、資料の活用、振り返り時間の確保等）、ノートの取り方や家庭学習の課題（質と量）等に重点を置いて取り組んでいる。

今までに研究所だより（第1回366号10/12発行、第2回369号12/21発行）で報告してきました内容についても、再度校内研修等でご確認いただき、今後の指導の参考にしていただければ幸いです。

<書籍紹介>

市教研人権教育部会が、今年度購入した下記の図書を教育センターで保管することになりました。この5冊は貸し出し用図書としますのでご活用ください。

- 学校で活かすいじめへの解決志向プログラム
—個と集団の力を引き出す実線方法— <金子書房>
- 現場教師ができる「励ましカウンセリング」
不登校・いじめを予防し、対処するために <学事出版>
- 学校カウンセリング入門 <ミネルヴァ書房>
- 不登校にしない先生・登校を支援できる先生 <明治図書>
- ネット依存から子どもを守る本
学校や家庭で取り組む予防教育と治療法 <大月書店>
- スクールカウンセリングモデル100
読み取る。支える。現場の工夫。 <創元社>
- 子どもへの気づきがつながる「チーム学校」
スクールソーシャルワークの視点から <かもがわ出版>

